

# 交流センターだより

# おおとし



大歳地域交流センター  
公式X(Twitter)アカウント

No.183  
令和6年  
6月号

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 14,057 世帯数 7,007  
開館時間 8時30分～17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461) (令和6年5月1日現在)

## 第64回地区体育祭を開催しました！



総合順位の結果は1位:岩富、2位:中矢原、3位:下矢原でした！  
出場された皆さん、そして運営にご協力いただきました皆さんありがとうございました！！



## 「みんなのひろば」からのお知らせ

今月は「シニアヨガ体験会」です。  
梅雨の季節、外出ができなくて運動不足になっていませんか？  
そこでシニアヨガで身体をリフレッシュ！  
毎日の健康習慣作りを教わりましょう！

- ◆日時 6月15日(土)  
13時30分～15時00分
- ◆場所 大歳地域交流センター 和室
- ◆講師 岡崎千絵先生
- ◆参加費 100円
- ◆持参物 バスタオル、軽い運動のできる服装、飲み物、あればヨガマット
- ◆定員 11名
- ◆申込先 大窪：080-2904-8193

## 太陽クラブからののお知らせ

今月はダンスの先生をお呼びしています！曲にあわせて身体を動かし楽しく遊びましょう♪  
ボールやバルーンなどの道具もたくさん使いますよ！初めての方も大歓迎です！！ぜひご参加ください☺

- ※日時：6月28日(金) 10時00分～
- ※内容：運動遊び
- ※場所：大歳地域交流センター 講堂
- ※参加費：無料
- ※持ち物：飲み物、動きやすい服装でご参加ください♪
- ※募集人数：未就園児の親子10組程度
- ※申込先：水原 (090-4897-5649)

## 分館対抗卓球大会を開催します！ 青空コーラスお楽しみ会のお知らせ

大歳地区卓球大会を大歳小学校体育館で開催します。個人の部は当日の飛び入り参加もできます。奮ってご参加ください！

※個人の部は、分館対抗の部の閉会式終了後に開始します。

※大会当日は体育館シューズを持参してください。

＜日時＞6月30日（日）午前8時30分集合

＜場所＞大歳小学校体育館

＜主催＞大歳体育振興会

＜主管＞大歳卓友会

＜問い合わせ＞大歳体育振興会事務局

（大歳地域交流センター内）

【083-922-4035】

※出場希望の方は、各地区分館長・体育委員さんに6月19日（水）までに直接お申し込みください。なお、申込先がわからない方は、大歳体育振興会事務局（TEL：083-922-4035）にご連絡ください。



童謡、唱歌、昭和の歌と一緒に歌ってリフレッシュして楽しい時間を過ごしましょう。

楽譜が読めなくてもOKです。見学だけでもOKです。

日 時：6月10日（月）

14時00分～16時00分

場 所：大歳地域交流センター 講堂

参加費：無料

大歳地域交流センターの定期利用団体として活動しています！

日 時：毎週月曜日

14時00分～16時00分

入会金：500円

年会費：1,000円

## 山口市保健センターから「肺がん（結核）検診」のお知らせ

がんの早期発見に向け、集団検診を実施します。早期のがんは自覚症状がないことが多いため、定期的な検診受診が必要です。40歳以上で、職場等で検診・人間ドック等を受ける機会のない方はぜひ受診しましょう。受診の際は必ず、がん検診等受診券（5月下旬発送）をご持参ください。

### 肺がん（結核）検診

■場 所：大歳地域交流センター 1階 講座室

■日 時：令和6年7月3日（水） 9～16時（12～13時は除く）

※例年9～10時頃までは大変混雑するため、10時以降または午後からの受診がお勧めです。

■負担金：300円（令和6年4月1日時点で40、45、50、55、60歳の方、65歳以上の方は無料）

■予 約：不要

喀痰（かくたん）検査（肺がん検診と同時に受診できます。）

■対 象：肺がん検診受診者のうち、50歳以上で喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600以上の方

■負担金：700円（70歳以上の方、「後期高齢者医療被保険者証」を提示された65～69歳の方、70歳未満で市民税非課税世帯の方（要事前申請）は自己負担金が500円です。）

※荒天時は、延期または中止となる場合があります。

【問い合わせ】山口市保健センター TEL：083-921-2666



## 大歳まちづくり協議会からのお知らせ

### ■事務局長の募集について

大歳まちづくり協議会では、事務局長1名を急募します。地域づくりに関心があって、事務職経験が豊富な大歳在住の方の応募をお待ちしております。

内 容：事務局の統括

勤務地：大歳地域交流センター内

勤 務：週3日または4日

(月収は約11万円～15万円)

任 用：随時採用

※応募方法や面接日時、勤務時間や賃金等の詳細については、大歳まちづくり協議会までお問い合わせください。

### ■地域の課題について

"明るく住みよいおとし"の実現のために、日頃からみなさんが感じている地域の課題などを大歳まちづくり協議会までお聞かせください。地域づくりの参考とするほか、必要に応じて行政機関等に対策を要望します。

### ■大歳まちづくり協議会の連絡先

電 話：083-920-1700(平日9時～17時)

メール：o104mati@c-able.ne.jp

※一文字目はアルファベットのオーです。

## 七夕かざり作りをしましょうよ！

日 時：6月29日(土)

9時30分～11時30分

場 所：大歳地域交流センター 2階 講堂

定 員：先着30名程度 ※要申込

対 象：年齢制限なし。未就学児はなるべく親子でご参加ください。おじいさん、おばあさんもお待ちしています。

※グループ分けは事務局でさせていただきます

参 加 料：無料

持 参 物：ハサミ、のり

申込受付：6月10日(月)～6月22日(金)

9時00分～17時00分

申 込 先：大歳地区社会福祉協議会

(083-920-1700)



## 食推さんの食育講座&カフェのお知らせ

下記のおやつ(予定)を作ってお子様をお迎えしましょう！

日時：6月20日(木)

13時00分～お迎え時間まで

場所：大歳地域交流センター 調理室

レシピ：むしパン、じゃがいものしりしり風<市報

5月1日号参照>

対象：1歳～小学校低学年

募集人数：12～15組

持参物：エプロン

備考：アレルギーがあればお知らせください！

申込先：大歳地域交流センター 地域担当

(083-922-4035)

## 【大歳地区6月の行事予定】

3日(月) 燃やせないごみの日

9日(日) 地区ソフトボール大会(9:00～)

10日(月) 青空コーラスお楽しみ会(14:00～16:00)

12日(水) 母子相談

13日(木) 金属・小型家電製品ごみの日

14日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)

15日(土) みんなのひろば(13:30～15:00)

19日(水) びん・缶ごみの日

20日(木) 食推さんの食育講座&カフェ(13:00～)



21日(金) パソコン相談(受付10:00～10:30)

24日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)

27日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)

28日(金) 子育て支援サークル 太陽クラブ(10:00～)

ぶっくん来館日(15:20～16:00)

29日(土) 七夕かざり作り(9:30～11:30)

30日(日) 地区卓球大会(8:30～)

※木曜日はプラ容器包装分別収集



## 復活！SL やまぐち号 -鉄道と大歳のこれまで-

先月3日、SL やまぐち号(D51)の運転が2年ぶりに再開されました。連日ニュースでも取り上げられ、復活を待ち望む声がいかに大きかったかを感じられました。これを機に大歳地区を走る鉄道の歴史を振り返ってみたいと思います。

明治5年に日本初の鉄道が新橋～横浜間で開業したのち、鉄道網は全国に広がり、同33年には山陽鉄道（現山陽本線）三田尻～小郡～厚狭間が開通します。この路線は当初、三田尻から山口町を経由し小郡へ出るルートが計画されていました。ですが、これに山口の旅館業者が鉄道建設に大反対したことで、見直しを余儀なくされます。鉄道が通るとこれまで山口に宿泊していた客が素通りや日帰りとなり、宿場町が寂れることを心配したのです。現代の私たちからすると見当違いな印象も受けますが、ここで当時の時代背景を考えてみます。幕末の藩庁移鎮に始まり、明治維新以降山口町には県庁や官衙、高等教育学校などが次々と設置され、近郊から訪問客や下宿人が集まるなど、せっかく大内氏時代以来の賑わいを取りもどしたのに、ここで鉄道敷設により宿泊客を失うのは耐えがたいという思いがあったでしょう。

しかし実際に鉄道が通じてみると、人も物資も小郡に集中するいっぽう、小郡～山口間は荷車や人力車、乗合馬車が主流で鉄道の通じていない不便さが際立ちました。これに追い打ちをかけたのが県庁移転問題です。交通便利の良い下関や防府に県庁を移すべきだという運動が活発になります。ここで山口町はすっぱりと鉄道誘致の方向に切り替え、明治33年山口鉄道委員会を結成し、山口-小郡間の鉄道敷設を推進する方針を定めました。国鉄誘致と軽便鉄道の2案が出ましたが、ひとまず軽便鉄道を造ることで話がまとまり、明治40年12月に山口軌道会社が設立され、資本の問題で大日本鉄道と合併し翌年その山口支社となりました。支社長には銭湯小路で旅館業を営み、反対運動の中心人物であった中村竹兵衛が就任しました。

まず明治41年、湯田～小郡間に軽便鉄道が開通します。大歳地区では和田橋と下湯田踏切の付近に停留所がつくられ、和田橋停留所の付近にあった茶屋は名物の「和田の外郎」目当ての客で繁盛したそうです。

ですが、スピードも動力も小規模な軽便鉄道は普通鉄道に比べその役割が十分に果たせず、山口町に通じる普通鉄道への期待が高まります。そこで、山口町では小郡と島根を結ぶ鉄道の敷設を請願し、大正2年(1913)、山口線はまず小郡～山口間で開通します。汽車の運行初日、大歳小学校では終業後に全校生徒を引率して開業前の大歳駅へ見学に行ったそうです。大歳地区の湯田駅・大歳駅が開業されたのはこの2ヶ月後のことでした。大正12(1923)年、津和野～益田駅間の開通をもって山口線は全線開通します。山陰と山陽を結ぶ重要路線として、戦中戦後にかけて蒸気機関車D51は多くの人や物資を乗せて走りました。

時代は移り、1960年代よりSLはディーゼルカーや電車に切り替えが進められ、山口線でも1973年9月末をもって蒸気機関車がさよなら運転を終えました。同時にその引退を惜しむ声が全国で大きくなります。国鉄は動体保存のため観光列車としてのSL運行を新たに計画し、新幹線に直結した観光地であり、地方都市という条件を備えた山口線に白羽の矢が立ちました。SL やまぐち号は、春から秋にかけ週末を中心に山口線を一日一往復走り続け、大歳地区内にも県内外から撮影に訪れる人が駅や沿線に集まるようになりました。

参考資料 「山口市史（昭和57年版）」

「鉄道いまむかし-山口県を中心として-」山口博物館

「山陽鉄道物語」長船友則

（大歳史談会 文責・竹田暁子）



SL やまぐち号〈D51〉（矢原駅より撮影）